

図書館通信

静岡大学附属図書館報

No. 144



2003.7

- シリーズ“すばらしい本の世界”
- 図書館からのお知らせ(1)
- シリーズ“!”第12回 OPAC 検索法
- 図書館利用セミナー実施報告
- 図書館利用統計
- 図書館の動き
- 図書館からのお知らせ(2)



読書のよろこび



山下 秀智

本を読むという行為は、実に楽しいことである。学生諸君にも、先ず楽しくて仕方がない読書を体験して欲しいと思っている。ここでは、あまりうまく整理できないが、以下に私にとっての読書を大きく二つに分けて、楽しい読書のためのヒントにしてもらいたい。

先ずは、面白そうな本を手当たりしだいに読む読書である。何がきっかけだったか忘れたが、高校生の時には、図書室にあったドストエフスキイ全集(米川正夫訳)を片っ端から読んでいった。『罪と罰』『カラマゾフの兄弟』『白痴』など、とにかく面白いのである。長ったらしい登場人物の名前や、複雑な人間関係も、さほど苦にならず、とうとう全巻を読破した。後に推理小説のジャンルにはまることになるが、『罪と罰』なども推理小説とさほど変わらない面白さをもっている。さあ、世界文学を読むのだとい

うような構えは不要で、とにかく読んで面白い本に出会うことである。ちなみに私の推理小説への入り口は、ヴァン・ダインの『僧正殺人事件』だった。これはマザーグースの歌に沿って展開する小説で、この手法は日本の横溝正史のおどろおどろしい小説にも生かされている。いろいろなジャンルの本を読んできたが、もう一つ時代小説の分野も忘れてはならないだろう。山本周五郎や藤沢周平の文庫本を、小旅行の際などバッグに入れておけば、待ち時間など何の苦にもならない。以上はレポートや論文を書くための読書ではないが、私はこのような読書からも多くのことを学んだ。例えば、山本周五郎の『虚空遍歴』では、端唄や浄瑠璃について学ぶといった具合に、雑学がしっかりと身につく。サラリーマンの間で、司馬遼太郎の『坂の上の雲』がベストセラーに入っているようであるが、

日本人の読書もなかなかのものと私は思っている。

もう一つは、楽しいけれども、大変やっかいな読書である。一つ例を出すと、私にとっての『歎異抄』である。『歎異抄』は親鸞の直弟子唯円の著作だと言われている。いくつかの説があったが、現在ではほぼ定説になっている。前半部に唯円の耳に残っている親鸞の言葉が記され、後半部に当時問題となった異義について記されている。学生時代に、私はこの本をいつもポケットに入れて持ち歩いていた。数冊がぼろぼろになった記憶がある。この本の第一条の「悪をもおそるべからず」という恐るべき言葉に接した時の感動は忘れることができない。この薄い本は、それ以後の私の生き方に決定的な影響を与えた。しかし、今もなお分からない点が多々ある。それは言葉の上で分からないのではなく、心底うなづくことが出来ないという意味で分からないのである。この本に出会ってから、そのうなづけないという気持ちをバネにして、ついに仏教思想の森の中へ入り込むことになった。親鸞は、自分に影響を与えた人として、七人の

祖師を挙げている。インドでは、ナーガルジュナ、バスバンドゥ、中国では、曇鸞、道綽、善導、日本では源信、法然である。彼の主著『教行信証』は、自分の言葉で書かれた部分は少なく、これらの先輩達の言葉で埋め尽くされている。それゆえ親鸞の思想を理解するためには、当然これらの思想家の世界に入っていかなければならないのである。『歎異抄』については、膨大な参考文献があるが、その内の三冊ばかりを挙げると、妙音院了祥『歎異抄聞記』、曾我量深『歎異抄聴記』、藤秀琿『歎異抄講讃』がある。いい参考書に出会うのも一苦勞である。時代を超えてそれぞれの感動を伝える、こうした参考書に支えられながら、また自分の体験を投げつけながら、私は今もなおこの本に取り組んでいる。微妙な箇所についての切実な問いを抱えて読むわけであるから、参考書といえども一言一句に集中しなければならない。『歎異抄』に限らないが、少々の主観的な感想で片付けられないような本に出会うことは、これまた読書の掛け替えのないよろこびといえるだろう。

(人文学部社会学科)

【紹介された本】 (静＝静岡本館／浜＝浜松分館)

『ドストエフスキ全集』

静／開架[988/D88/1-21]

『僧正殺人事件』 静・浜／開架 発注中

『虚空遍歴』 静／開架[918.6/Y31/15]

浜／開架 発注中

『坂の上の雲』 静／開架[913.6/SH15/1-6]

(司馬遼太郎全集所収)[918.6/SH15/24-26]

浜／開架 発注中

『歎異抄』

静／開架[081/N77/6]

静／閉架[188.74/TA88/B]

浜／開架[081/12/6]

『教行信証』

静／開架[188.7/SH69/1-2]

浜／開架[081/12/6]

『歎異抄聞記』

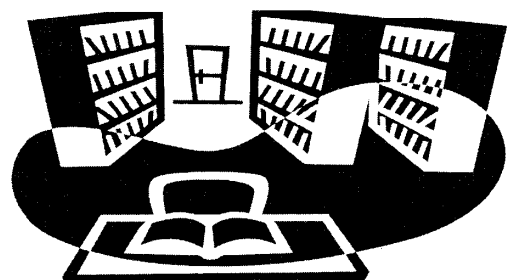
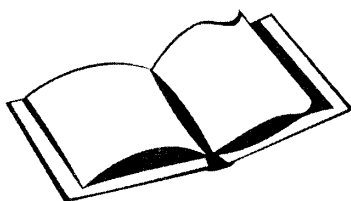
静／開架 発注中

『歎異抄聴記』

静・浜／開架 発注中

『歎異抄講讃』

静／閉架[188.74/SH69F]





読書のすすめ



塩尻 信義

世の中不景気で、人も企業も（国立大学も）リストラに喘ぎ、何かしら全体的に閉塞感がただようのを感じていますが、静大生の皆さんはどんな思いで勉学に励んでいるのでしょうか。バイトも大切ですが、自分の夢を持ち、そしてどう生きるべきかを考えてほしいと思います（人生は本当に1回きりなのです）。大学生の時こそ、あせらず落ち着いてそれができるのです。何でも本物を見たり、体験するという姿勢で、他の人とは違うオリジナルの勉強をしてほしいと思います。やり過ぎはありません。

図書委員の方から読書についての原稿を頼まれ、今キーボードをたたきつつあるわけですが、大学時代の読書は本当に将来の肥やしとなります。自分自身に向き合い、また人間や社会を考えることになります。素晴らしい先達にも出会えるでしょう。情報収集もできますし、気分転換にもなります。これは私の経験からの実感です。ここでは、私の読書経験を書いて、読書のすすめとしたいと思います。

思い起こせば、私が大学1、2年の頃、何となく静大は暗かった（私は昭和49年の入学ですが、暗かったのは私だけかもしれません？）。当時は二期校コンプレックスや五月病とやらがあって、特に1、2年の頃は悩む学生が多かった。今は大学への期待もないから五月病もないとか新聞で読んだけれど、静大に入学するみんなが、大学への期待が全くなく入学しているとは信じがたい。個人的には、学問に燃える学生が静大にもいることを確信しています。

入学当初、自分の将来に不安を、また寂しさをも感じ、悩んで（若者の特権か？）本を良く読んだ。友人先輩に薦められてまず読んだのは、遠藤周作著『白い人・黄色い人』、『海と毒薬』、大岡昇平著『野火』、『俘虜記』。いかに自分は生きるべきか、悩んだ。さらに高橋和巳著『非の器』、『邪宗門』、大江健三郎著『芽むしり仔撃ち』、また大学院時代には重いドストエフスキーも読んだけれど、悩むことは重要であるが、深刻に考えすぎて、袋小路に入り込んでしまってもいけないことを学んだ。人間、前向きに生きていけば、何かいいことはある。

そして、私の静大時代を考える上で、静大教養部生物学教室は落とせない。当時生物学教室には江川、米田、川辺、玉置の四先生がおられたが、この生物学教室は学生指導にかけては日本一の教養部生物学教室だった。やる気のある1、2年の学生に個別の実験指導までして下さった。お陰で沢山の有為の卒業生が育った。各界で活躍している。ここでは、まず辞書を買えと勧められた。英語は研究社か岩波の『英和大辞典』、国語は岩波『広辞苑』、生物系の学生は岩波『理化学辞典』、岩波『生物学辞典』などを（今なら全て電子辞書か？）。お金もかかるが、これらは投資であり、大学生はきちんと調べて理解し、正しく表現せよとのことだった。そして、歴史モノを読めとアドバイスをいただいた。岩波文庫の『微生物の狩人』（ポール・ド・クラيف著）、講談社学術文庫『近代科学の誕生（上）（下）』（H・バターフィールド著）、『ルイ・

パストゥール』(ルネ・デュボス著)など、など。どのようにして科学が発展し、そのきっかけは何だったのか、大きな科学の発見とは何かを学べた。J・D・ワトソンの『二重らせん』(講談社文庫)はDNAの構造発見に至る人間模様が面白い。今年が発見50年である。

また生物系のものとしては、岡田節人著『細胞の社会』(講談社ブルーバックス)や『試験管の中の生命』、『動物の体はどのようにしてできるか』(岩波新書)などを読んだ。生物学を志す人だけでなく、一般の学生でも易しく読める。今でも名著である。高校生でブルーバックスの『細胞の社会』に魅かれて、岡田先生の研究室(当時京都大学)を志した人も多いと聞く。関西弁の語り口がおもしろく、私自身ファンで、かなり読んでいます。必ず読んで下さい。損はしません。

理系に偏りすぎた感もあるので、ちょっと気分転換に、今度は推理小説として、江戸川乱歩著『二銭銅貨』、松本清張著『ゼロの焦点』、『点と線』などの古典はどうだろうか。現代モノとは一味違う、モノクロ風異空間が広がる。また開高健著『オーパ!』シリーズ(集英社文庫)は気持ちが晴れ晴れする。最近ではビデオやテレビ、インターネットなどが発達し、情報が氾濫しているが、ここでは、開高健の絶妙な文章に、また写真が素晴らしい。静岡もいい所だけれども、読み手をアマゾンやアラスカにいない、素晴らしい魚に会える。そして理屈っぽ

く食事が気になる君には、ブルーバックス『Q&A食べる魚の全疑問』、『Q&A野菜の全疑問』(高橋素子著)もおもしろい。みんなに自慢ができるし、何か自分で納得できる。

清浄な世界が好きな君には、東山魁夷の『風景との巡り合い』(新潮文庫)をお薦めする。青翠の中を1本の道がずっと続く絵『道』が収録されている。著者は、自分は生かされているのだという思いのもとに、絵を描き続けた巨匠である。人生、ずっと歩いていく我々を暗示してこんな謙虚な人もいるのだ。"俺が、俺が"のこの時代にこそこの精神が重要だ。岡本太郎著『自分の中に毒を持って』(青春文庫)、小澤征爾著『ボクの音楽武者修行』(新潮文庫)も若い時には是非読んで欲しい。

漫画も良し。例えば手塚治虫の『シュマリ』、『聖書物語』などを薦めたい。

最後に新聞もお忘れなく。特定の新聞をあげてはいけないかもしれないが、日本経済新聞朝刊『私の履歴書』、夕刊の『人間発見』。これはタメになる。最近、静大名誉博士号を授与された浜松高等工業(静大工学部の前身)出身、浜ホト社長晝馬輝夫氏が出た。静大の名前が大手の新聞に出るのは嬉しい。でも私自身についていえば大学生の時には新聞は読んでいなかった(お恥ずかしい)。新聞を当時からきちんと読んでいけばもっと視野が広がっていたと思う。

(理学部生物地球環境科学科)

【紹介された本】 (静=静岡本館/浜=浜松分館)

※以下個人名は静が全集、浜が新潮日本文学に所収

遠藤周作 静/開[918.68/E59/1,6] 浜/開[910.8/153/56]

大岡昇平 静/開[918.6/O69/1,3] 浜/開[910.8/153/43]

高橋和巳 静/開[918.6/TA33/2,7-8] 浜/開 発注中

大江健三郎 静/開[913.6/O18/1] 浜/開[910.8/153/64]

『微生物の狩人』 静/開[491.7/KR8/B1-2]

『近代科学の誕生』 静/開[402.3/B97/B1-2]

浜/開 発注中

『ルイ・パストゥール』 静/開[289.3/B97/B1-3]

『二重らせん』 静/開[464.4/W48] 浜/開[464.27/W48]

『細胞の社会』 静/開[463/O38/S]

『試験管のなかの生命』 静/開[463/O38/S]

浜/開[081/I95SC/387]

『動物の体はどのようにしてできるか』

静/開[481.4/O38/S] 浜/開[081/15/177]

『二銭銅貨』 静・浜/開架[908/C44/14]

(9ページ下へ続く)

図書館からのお知らせ

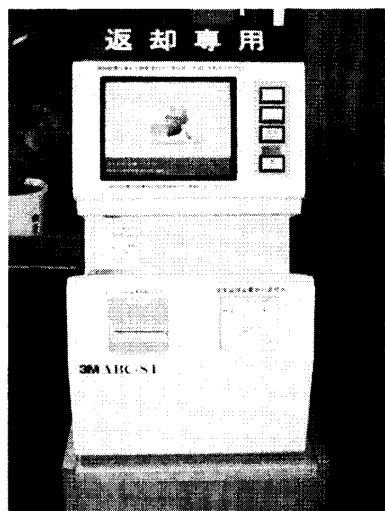
返却がセルフサービスになりました [静岡本館]

自動返却装置 (ABC) を導入しました。

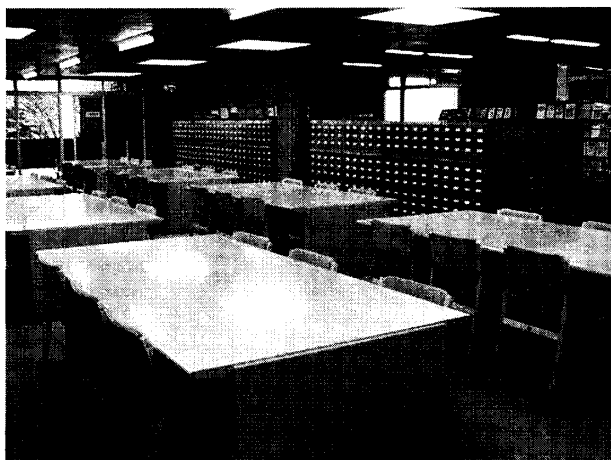
開架図書につきましては、カウンター横にある返却専用の機械で手続きができます。

使い方はボタンを押して、本を置くだけ！

- ◆学生証はいりません。
- ◆プラスチックの学生証をお持ちでない方
(研究生や聴講生の方) も使用できます。
- ◆閉架図書は今まで通り、返却ボックスに入れてください。



閲覧室の机・椅子が新しくなりました [静岡本館]



5階 Harvest Room

4階参考図書閲覧室



一般市民の方への貸出について [静岡本館] [浜松分館]

平成15年4月1日より一般市民の方へ館外貸出サービスを始めました。

以前は館内での閲覧・コピーのみでしたが、図書を3冊2週間まで借りられるようになりました。(※雑誌の貸出はできません)

図書を借りる場合は図書館利用票が必要です。詳しい利用方法などは静岡大学附属図書館ホームページの「学外の方はこちらからどうぞ」をご

覧いただくか、または下記までお問合せください。

【問い合わせ先】

静岡 情報サービス係

電話：054 (238) 4479

メール：lib-infsrv@adb.shizuoka.ac.jp

浜松 分館サービス係

電話：053 (478) 1391

メール：lib-hama@adb.shizuoka.ac.jp

シリーズ“!” 第12回

OPAC検索で間違ったキーワード入力をしていませんか？

OPAC（静大蔵書検索）は日頃から利用されていると思いますが、より正しく検索を行うため、もう一度キーワードの入力方法についてご案内します。

1. 「市町村合併」についての図書を探す場合

静岡大学
附属図書館
蔵書検索
English Here

簡易検索
☒ 全資料 ☐ 図書 ☐ 雑誌
 和/洋の指定 ☒ 和 ☒ 洋
 検索対象館室 ☒ 全館 ☐ 静岡本館 ☐ 浜松分館

検索するキーワードを入力してください。

●タイトル 市町村 合併
 ●著者名
 ●出版者
 ●件名

検索 条件クリア

一覧に表示する件数は 20 件とし、取得上限は 500 で検索します。

市町村△合併… 10 件ヒット
 市町村合併… 4 件のみヒット

キーワードは単語毎にスペース（△印）で区切って入力してください。

例）市町村合併と都市地域構造／片柳勉著 という資料を探す場合はタイトル欄に

市町村△合併△都市△地域 のように入力をするすると検索できます。

著者名で探す場合は著者名欄に

片柳△勉 のように姓と名をスペースで区切って入力してください。

2. 「子ども」「発達」というキーワードで探す場合

子どもには「子ども」「子供」「こども」「コドモ」の表記が考えられます。このようなときは単語の読みをひらがなもしくはカタカナで入力します。

こども△発達… 160件ヒット

子供△発達… 10件のみヒット

3. ジェーン・オースティンの著作を探す場合

欧米人名で検索をする場合は原綴りで入力をしてください。

Jane△Austen…34件ヒット

ジェーン△オースティン… 5 件のみヒット

4. 雑誌「Nature」の409巻6823号を探す場合

静岡大学
附属図書館
蔵書検索
[English Here]

検索
お気に入り
履歴
移動
リンク

アドレス http://bssv2.adb.shizuoka.ac.jp/WebOpac.html

簡易検索

☐ 全資料 ☐ 図書 ☐ 雑誌

和/洋の指定 ☒ 和 ☒ 洋

検索対象館室 ☐ 全館 ☐ 静岡本館 ☐ 浜松分館

検索するキーワードを入力してください

● タイトル nature@

● 著者名

● 出版者

● 件名

検索 条件クリア

一覧に表示する件数は 20 件とし、取得上限は 500 で検索します。

nature@
ここに○巻○号、409 (6823) のように巻号を入力すると検索できません！最後に@をいれると完全一致検索となります。

巻号は検索キーとして入力しないでください。

雑誌「Nature」、「Science」などのように非常に一般的な語のタイトルの資料を探すときには@をつけましょう。

Nature…500件以上ヒット→この検索結果から該当の資料を探すのは大変！

Nature@…3件ヒット→探している資料がすぐにみつかります！

完全一致の場合は検索語の最後に@（アットマーク）、

前方一致の場合は検索語の最後に*（アスタリスク）を使います。

vol. 246 (Dec. 1973), Nature: new biology, and, Nature: physical science, etc.
Nature
Other title information: International weekly journal of science, <Vol. 301, no. 6130 (Aug. 1987)>
Publisher varies: Macmillan Magazines, <Vol. 328, no. 6130 (Aug. 1987)>
Supplements accompany many numbers
Founded and for many years edited by Sir J. N. Lockyer
Published in Japan by Nature Japan K.K., Tokyo

[受入情報へ]

所蔵情報

所在: 静岡本館 外国雑誌
所蔵年次: 1950-2002
所蔵巻号: 165-200, 201(4914, 4921, 4923-4926), 202-228, 247-264, 265(5589-5595), 266-267, 268(5615-5618, 5620-5623), 269-354, 391-408, 409(6816-6821, 6823), 410-418

所在: 静岡本館 開架雑誌
所蔵年次: 2002-2003
所蔵巻号: 419-423, 424(6944)+
請求記号: Z-NAT-400/NC

検索結果の所蔵情報のなかから探している巻号が所蔵されているかどうか確認します。

<<カード目録もみてください！>>

現在はまだ所蔵している資料のすべてがOPACで検索できるようにはなっておらず、静岡本館は1987年、浜松分館は1989年、それ以前に受け入れた資料についてはデータの遡及入力作業中です。1987年（1989年）以前に出版されている資料を探す場合はOPACとカード目録の両方を探してください。

カード目録は、静岡本館は和書が4階雑誌コーナー脇・洋書が4階西側玄関の通路脇に、浜松分館ではカウンター前にあります。

平成15年度図書館利用セミナー実施報告

【静岡本館】

附属図書館利用セミナーが正式授業単元の1コマに加わり2年目となりました。

本年度は4月21日から7月8日までの期間で95クラスを対象に実施されました。

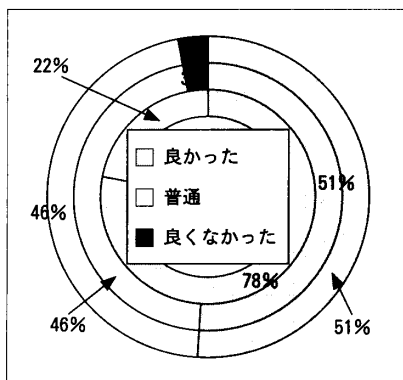
この利用セミナーを通して附属図書館の基本的な利用方法を理解させ、より多くの学生に図書館に親しんでもらい、これからの勉学・研究・教養など、学生生活充実のための導入になればと思います。

セミナーの内容は

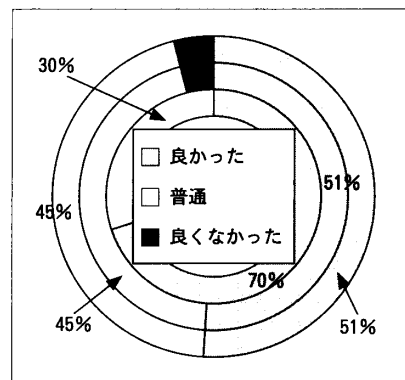
- ・図書館案内（図書館の使い方）をプロジェクターにより説明
- ・静岡大学附属図書館蔵書検索実習（OPAC実習）（パソコン45台で実習）
- ・学外蔵書検索実習（Webcat実習）
- ・静岡大学利用可能なデータベース紹介（NACSIS-IRの雑誌記事索引 新聞記事索引 ネットで百科）
- ・館内案内（書庫内ツアー）

の5項目で、実習を重点とし蔵書検索を完全マスターさせることをめざしました。

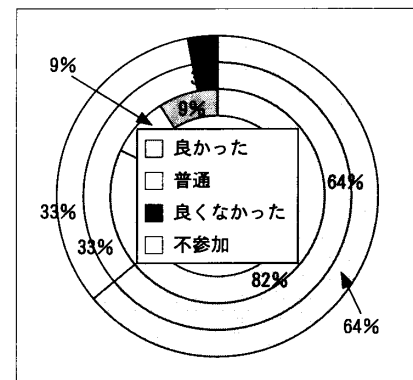
アンケート集計結果（内円は教官・中間円は学生・外周円は総合評価）



プレゼンテーション評価
(図書館案内等)



パソコン検索実習評価



書庫内ツアー評価

上記グラフ結果から、「良かった・普通」を合わせ96%をこえる評価を得ることが出来た事が分りましたが、まだまだ多くの改善点があります。

例えば「もう少し早い時期に実施して欲しい」「セミナー受講人数の少人数化」など、図書館だけでは解決できない問題も含んでおります。「セミナー全体の時間配分の考慮」「授業に即した演習問題をして欲しい」これらについては、今後検討を重ね、より充実したセミナーをめざしたいと思います。

【プロジェクターによる図書館案内】



【浜松本館】

浜松キャンパスの新入生対象の図書館利用セミナーが浜松分館 SCS メディアルームにおいて平成15年4月21日（月）から7月8日（火）までの期間で実施されました。

セミナーは原則的に1回のセミナーで2クラス30名程度で、図書館職員3名で対応しました。内容については以下のとおりです。

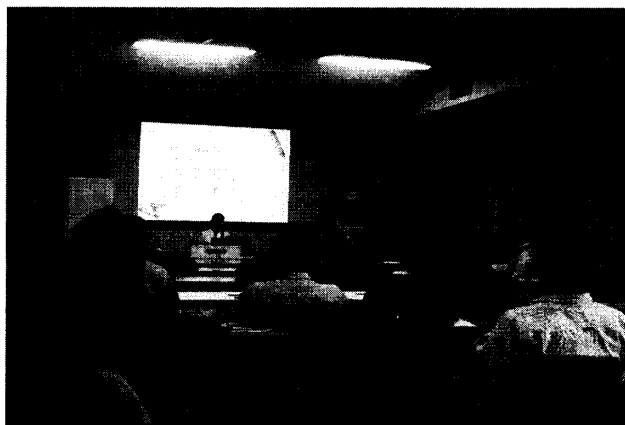
- 図書館概要説明
- 図書館館内ツアー
- OPAC(蔵書目録)の検索方法の説明と実習
- その他の図書館で受けられるサービスの紹介

図書館概要説明では、図書館の館内施設等の簡単な案内と基本的なサービス内容とその利用の仕方について、プロジェクターを使って大型スクリーンに映し出したパソコンの画面を見てもらいながら説明しました。館内ツアーでは、職員が館内を案内・説明しながら施設や資料の

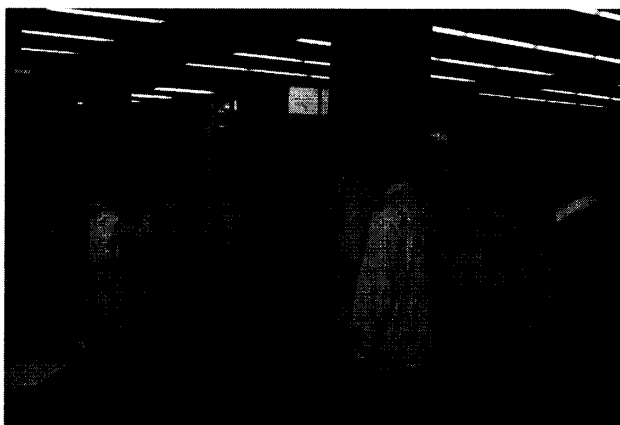
配置などを実際に見てもらいました。OPACの検索方法の説明では、具体的な検索例を参考に検索方法や表示内容の意味などについて説明し、また検索実習では、用意したノートパソコン15台を使って、受講者自身による検索例題の実習を行ってもらいました。その他のサービスの紹介では、インターネット等による図書・雑誌情報等の検索、ILLや学外の図書館の利用法などについて説明しました。

受講者のセミナーへのアンケートでは、図書館の利用の仕方がよくわかった、図書館の本の配置がわかってよかったという意見が多かったのですが、実施時期をもっと早くしてほしい、技術的な事柄に偏っているのでは総論的な解説もあるとよい、館内ツアーをもっとスムーズにおこなってほしいなどの意見もありました。来年に役立つ意見がいくつもありましたので、それに応えられるよう検討していきたいと思います。

【概要説明】



【館内ツアー】



(4 ページより続く)

松本清張 静/開[918.6/MA81/1,3] 浜/開[910.8/153/50]
『オーパ!』 静/開 全集[918.68/KA21/16-17]
浜/開[296/1]

『Q&A食べる魚の全疑問』

静/開架[408/B94/S1409] 浜/開架 発注中

『Q&A野菜の全疑問』 静/開架[408/B94/S1342]
浜/開架[626/TA33]

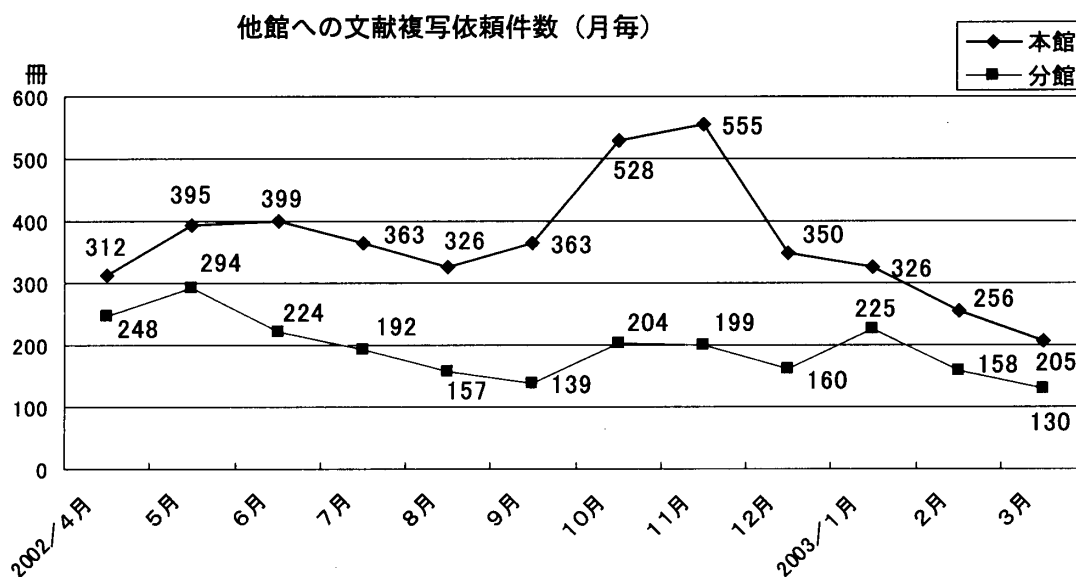
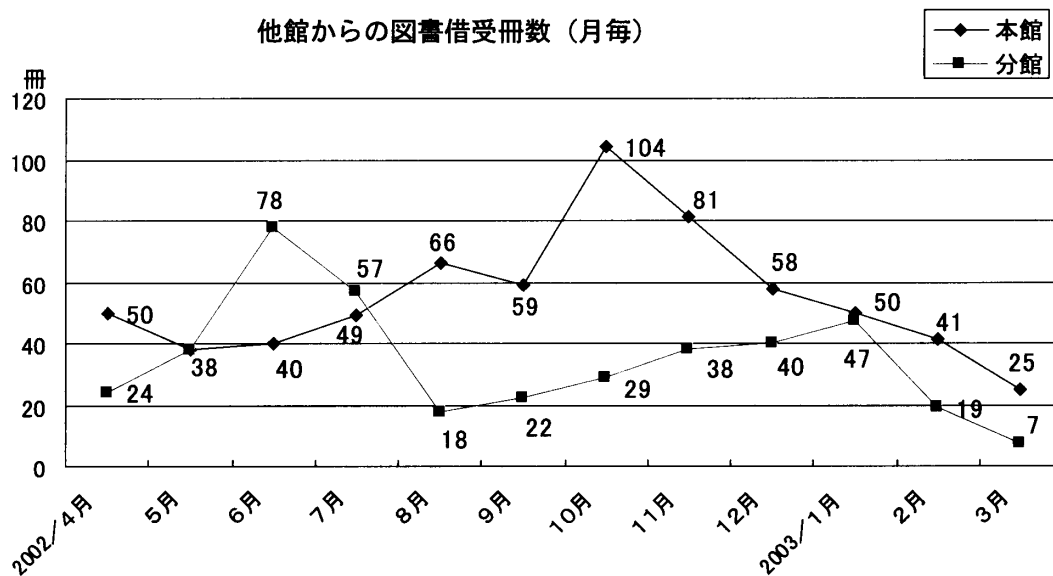
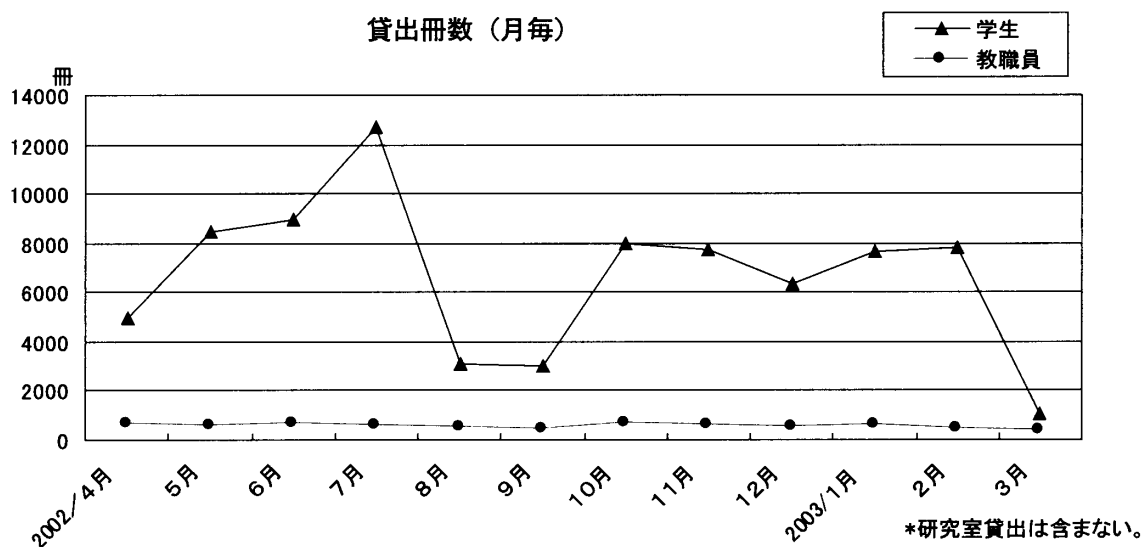
『風景との巡り合い』 静・浜/開架 発注中

『自分の中に毒を持て』 静・浜/開架 発注中

『ボクの音楽武者修行』 静/開架[760.4/O97]

浜/開架 発注中

◆◇◆◇ 平成14年度図書館利用統計 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇



図書館の動き

◆会 議

平成15年度東海地区国立大学図書館協議会総会

(平成15年4月22日(火) 於：浜松医科大学)

図書館長、事務部長、情報管理課長が出席。

国立大学図書館協議会関係諸会議の報告、地区協議会活動状況報告に続いて、文部科学大臣等に対して特に要望すべき事項、国立大学図書館協議会総会の分科会で検討するための協議題等について活発な協議が行われた。

また、当面の諸案件として、法人化への対応について等の意見交換が行われた。

平成15年度国立大学附属図書館事務部課長会議

(平成15年5月28日(水) 於：東京医科歯科大学)

事務部長、情報サービス課長が出席。

文部科学省研究振興局長の挨拶に続いて、研究振興局情報課長から「大学図書館の当面する諸課題について」の説明、また文化庁長官官房著作権課長による「知的財産戦略による著作権制度の最近の動向」の講演をはじめ、法人化後の図書館運営や財務会計制度について等、多彩な講演・説明が行われ、当面する諸課題への積極的な取り組みについて共通の認識を深めた。

平成15年度第1回静岡大学附属図書館委員会

平成15年4月24日(木)

○審議事項

1. 附属図書館関連委員会について
2. その他

○報告事項

1. 静岡大学の中期目標・中期計画について
2. 附属図書館利用セミナーについて
3. 平成14年度東部学生用図書選定計画について
4. 研究室備付貸出図書館資料の点検について
5. その他

平成15年度第2回静岡大学附属図書館委員会

平成15年6月16日(月)

○審議事項

1. 平成14年度図書購入費決算及び平成15年度図書購入費の配分について
2. 附属図書館の中期目標・中期計画について
3. 平成15年度附属図書館事業計画について

○報告事項

1. 平成14年度図書館経費(運営費)決算及び平成15年度執行計画について
2. 平成15年度電子化・学術情報資料(電子ジャーナル等)経費について
3. 附属図書館予算に係る問題点について
4. 平成14年度のフォローアップ結果報告について
5. 法人化後の図書資料の購入手続きについて

6. 平成15年度附属図書館利用セミナーの実施について

7. 図書館利用状況について

8. 1) 附属図書館利用マニュアルの作成について
- 2) 電子ジャーナル、2次資料データベース利用状況について

◆人事異動

平成15年4月1日付け<転入・転出>

芹澤 誠(分館サービス係主任→浜松医科大学総務部会計課出納係長)

齋藤 勝麗(理学部総務係主任→分館サービス係主任)

前田 勝典(分館サービス係→豊橋技術科学大学教務部図書課情報サービス係)

江口 敏一(豊橋技術科学大学教務部図書課学術情報係→分館サービス係)

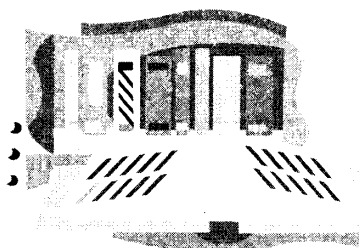
杉山 智章(東北大学情報シナジーセンター学術情報支援掛→図書情報係)

◆平成15年度附属図書館委員会

館 長	番場 公雄	
浜松分館長	市川 朗	
人文学部	山本 節	三富 紀敬
教育学部	兼平 昌昭	堀江 雅幸
情報学部	鈴木 淳之	若杉 英治
理学部	芥川 一雄	丑丸 敬史
工学部	戸田三津夫	
農学部	朴 龍洙	向井 譲
理工学研究科	藤原 健智	
電子科学研究科	松本 隆宇	
電子工学研究所	福田 安夫	喜多尾道火児
附属図書館	藤森 末雄	

◆平成15年度図書館通信編集委員

館 長	番場 公雄	
工学部(分館長)	市川 朗	
理学部	丑丸 敬史	
附属図書館	木下 彰	小濱 進
	小野 華子	杉山 智章
	釜田香寿枝	竹村 寛子
	杉浦 昭重	尾藤 泰代



■「附属図書館利用マニュアル(教員用)2003」を発行しました ■

昨年に引き続き教員用の図書館利用マニュアルを発行し、新任教官を主な対象として配布しています。(昨年は全教員に配布)

このマニュアルでは、図書・雑誌の購入及び新しい情報提供サービスを利用する方法等について細部にわたって説明し、図書館利用照会先一覧を最後のページに掲載しています。また、Webによる図書の購入とILL(文献複写・図書貸借)依頼の申込や電子ジャーナル・文献情報データベースの利用方法等については、検索画面の例示等を載せてよりビジュアルに分かり易くしました。

このマニュアルを多くの利用者にご利用いただけるよう、附属図書館ホームページに掲載し、目次からそれぞれの本文と別紙へリンクを張り見やすくしています。図書館のより一層の活用のためにご利用ください。

このマニュアルについてのご意見等がありましたら、下記担当者までお寄せください。

担当：情報管理課図書館専門員

畠山百合子

E-mail: hatake-y@adb.shizuoka.ac.jp

TEL : 054-238-4473 (内線2803)

夏休みの開館日程〔本館・分館共通〕

7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

☐ 9:00～22:00

☐ 9:00～17:00

☒ 9:00～19:00

※ 臨時の休館日は、別途お知らせします。

● 返却期限日の変更

平成15年7月18日(金)から平成15年9月23日(火)までに貸出した図書の返却期限日は、次のとおりです。

平成15年10月7日(火)